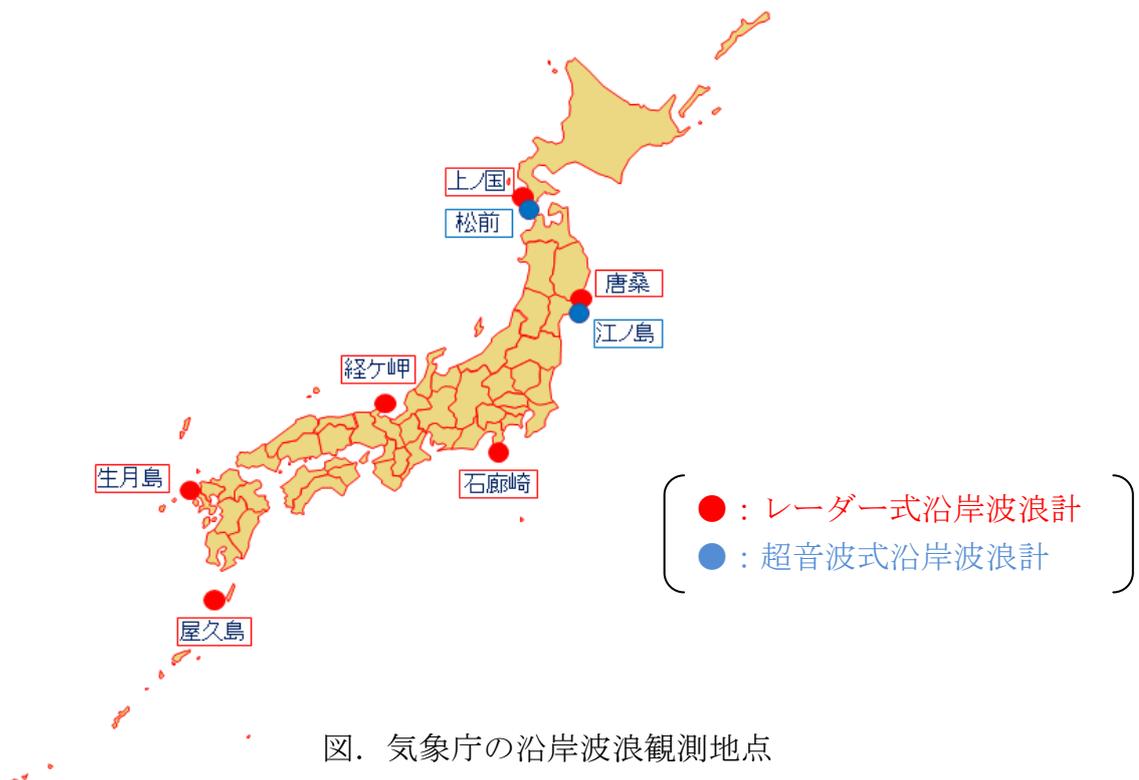


沿岸波浪計観測地点の変更について

気象庁では、沿岸波浪観測を水中設置型超音波式沿岸波浪計から陸上設置型レーダー式沿岸波浪計への変更を行っています。

今回、松前（北海道）での観測を、上ノ国（北海道）に観測地点を変更し、陸上設置型レーダー式沿岸波浪計による観測を平成24年5月10日（木）14時から開始します。

また、江ノ島（宮城県：現在、欠測中）についても、唐桑（宮城県）へ観測地点を変更してレーダー式沿岸波浪計による観測を開始するため作業を進めており、観測開始日時については、別途お知らせします。



【本件に関する問い合わせ先】

気象庁 地球環境・海洋部 海洋気象課
03-3212-8341（内線 5146）

○レーダー式沿岸波浪計

レーダー式沿岸波浪計は、陸上から発射し海面で反射した電波を捉え、波浪を観測します。今回導入した装置は、水平方向30度毎に6個のアンテナを持ち、方向別の波浪を観測することができます。これにより、その場所の風により発生している波と遠くから伝わってくるうねりの区別や、これらが合成されて波が高くなる様子などを詳細に観測することが可能となります。

